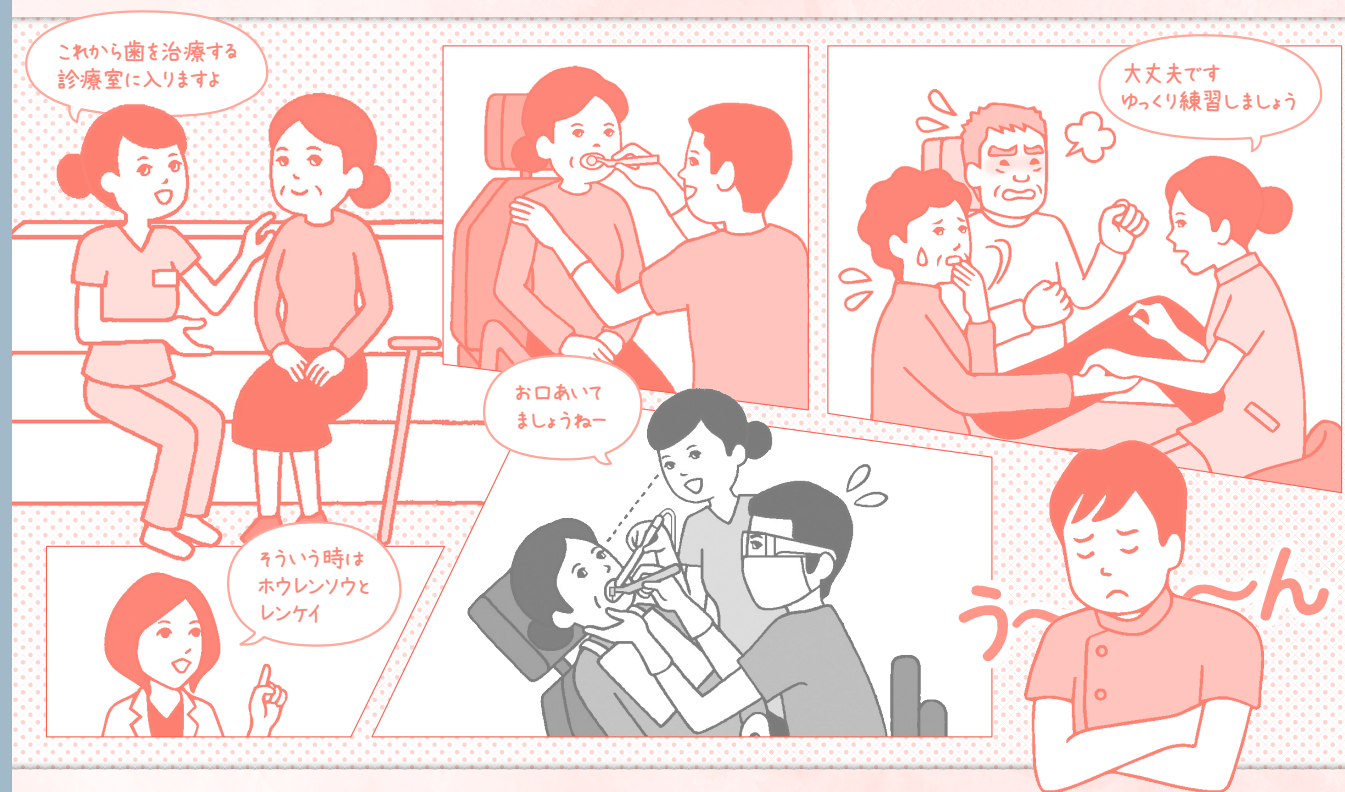


歯科医院で 認知症の患者さん に対応するための本

ガイドラインに基づいた理解・接遇・治療・ケア



編著

平野浩彦・枝広あや子・本橋佳子

医歯薬出版株式会社

1

認知症の基本 知っておきたい病態とその症状

学習編

ガイドラインでは
→ 第1章 参照

認知症とは

認知症とは、いったん正常に発達した知的機能（認知機能）が何らかの脳の病的変化によって、日常生活や社会生活に支障をきたす程度まで持続的に障害された状態のことです。一方、認知機能の持続的な低下を認めるものの、日常生活や社会生活には明らかな支障が認められない状態は軽度認知障害（mild cognitive impairment : MCI）と呼びます（図1）。

認知症では、認知機能障害や生活障害とともにさまざまな身体的・精神的な健康問題や社会的な生活課題が現れやすくなり、それによって臨床像全体が複雑化することで本人や家族のQOLが低下し、生活の継続が困難になるリスクが高まります（図2）。そのようなリスクを低減させ、その人の尊厳ある生活の継続をめざすことが認知症支援の基本かと思われま

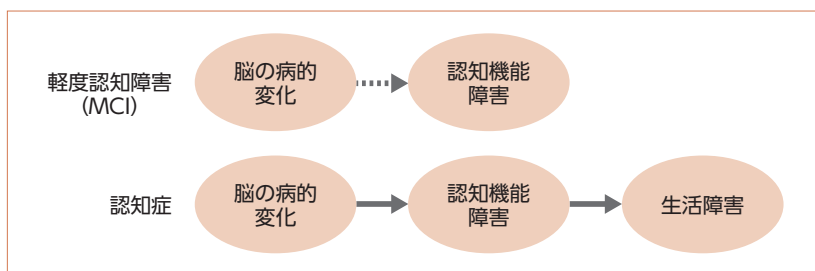


図1 認知症と軽度認知障害の概念

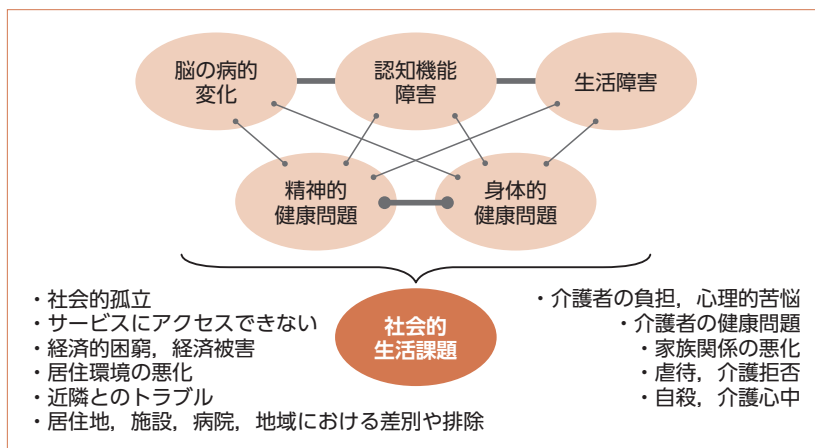


図2 認知症の一般的特性：複雑化の傾向

1 認知症の基本 歯科臨床での気づきと連携の芽

臨床の実際編

ガイドラインでは

→ 第1章
第2章
第3章
CQ5-7 参照

認知症の初期の頃の徴候はわかりづらく、医療介護連携によって初めて明確になるケースがあります。長くかかりつけで歯科医院に通っている患者さんに現れるいくつかの徴候に気づき、把握するためのポイントをみてみましょう。

CASE

糖尿病から認知症軽度への病態変化、抜歯をきっかけに内科医に連携した例

- ・ミホコさん、79歳、女性。
- ・既往歴：高血圧、糖尿病（内服薬管理）、関節リウマチ（軽度）、バイアスピリン[®]内服中
- ・ADL：自立、独歩可能、夫と2人住まい
- ・かかりつけ歯科通院歴5年、上顎総義歯（残根上）、下顎部分床義歯（前歯部計4本が残存）
- ・4カ月ごとに定期的な歯科受診をしており、口腔衛生管理および義歯管理をしていた。鉤歯である下顎前歯は動揺度2程度で管理中であった。
- ・よく世間話をするなど性格は開放的で、これまで血液検査値などはお薬手帳に挟んで毎回持参するようにしていただいていた。

① ○月の来院時、ミホコさんは通常通りユニットに座り、いつも通りに担当医のテツヤ先生と簡単な挨拶をしました。テツヤ先生は義歯調整を開始し、特に会話なく平常通り義歯切削を行っていました。

ミホコさん：…あの…すみません…いつもの先生ですか…？ このままやってもらって大丈夫なんですよねえ…？

テツヤ先生の心の声：（え！？ さっき普通にあいさつしたのに？）

テツヤ先生：あら、いつもの僕ですよ～。最近、髪型変えたから違って見えちゃったかな、ごめんね～（**図1**）。



図1 いつもの歯科医院のはずが、戸惑い不安になった

診療情報提供依頼

A 内科医院
A 一郎先生御机下

A 歯科クリニック
●●テツヤ
▲月▼日

患者 ○○ミホコ様 79歳 女性

平素より大変お世話になっております。高血圧、糖尿病、関節リウマチの診断名で、貴院で御加療されている患者様です。

かねてより当院にて歯科治療を継続して行っており、近日中に抜歯を計画しております。抜歯の侵襲は軽度です。抜歯に際し、術中術後の留意点も含め、貴院での診断名、治療の内容をご教示いただければ幸いです。また直近の検査値等ございましたら、複写を頂けませんでしょうか。

追記) 最近の歯科診療中の出来事について、様子が変化したと思いますので、些細なことですがご報告申し上げます。

○月、診療中に急に不安な様子になられた。

○+4月、定期的な予約をお忘れになった様子で、歯科通院時も義歯を装着し忘れて来られた。

○+8月、日常の清潔行為が不十分、もの忘れの様子あり。内科処方薬剤を自己調節しているとのこと。血糖 230 mg/dL (食後2時間) でした。

以上の様子から、状態の変化を危惧しております。診断名・薬剤の追加などございましたら、ご教示いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

診療情報提供書

A 歯科クリニック
●●テツヤ先生

A 内科医院
A 一郎
▲月□日

患者 ○○ミホコ様 79歳 女性
診断名 # 1. 高血圧 # 2. 糖尿病
3. 関節リウマチ
4. 認知症

お世話になっております。

○+3月にD総合医療センターに紹介受診し、認知症の診断を受けました。画像診断などで鑑別診断をしている最中です。現在は認知症に対しドネペジル塩酸塩 3mg が追加となっております(処方同封)。

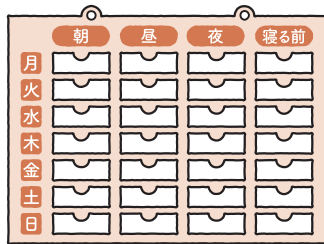
内服薬による血糖管理が困難になってきていると考えています。貴院での抜歯日に合わせて血糖のコントロールを行いますので、3カ月程度先に抜歯日を設定できますでしょうか。抜歯の際に必要なであれば抗菌薬の事前投薬をお願いします。直近の検査値を同封します。

様子の変化を教えてくださいまして感謝します。今後ともよろしくお願いたします。

図3 歯科から内科への手紙

図4 内科から歯科への手紙

図5 服薬支援カレンダー
カレンダー型のウォールポケットの薬入れに日付け・飲む時間ごとに内服薬を分けてセットし飲み忘れを防止する



ミホコさんはさほど普段と変化がない様子でしたが、口腔清掃状態は前回同様、よくありませんでした。

テツヤ先生：D 総合医療センター行ったんですか～、1人で行ったんですか？

ミホコさん：あ～、だいぶ前ね、行きたくなかったけど、あはは。娘と行ったんだけど、あの子、一緒に住んでないから心配しすぎよね。

テツヤ先生：へえ～、MRI という機械の検査とかしたんじゃないですか？

ミホコさん：いろいろね。時間かかって大変だったわよ～。でもまた行かないきゃいけないんだって。やだわ～。

1 接遇について

学習編

ガイドラインでは
→ 第3章 参照

かかりつけの歯科医院だからこそ、認知症の発症前から患者さんのことを知り、認知症による言動の変化にも早期に気づくことがあるのではないのでしょうか。認知症の患者さんとその家族が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、早期に必要なサービスにつながるように環境を整えていくことが大切です。

本稿では、認知症の患者さんが歯科医院を受診するときに起こりがちな困りごとと、その言動の背景にある認知症の病態を踏まえた意味を記載し、それに対して受付スタッフや歯科衛生士がどのように対応すればよいかを考えます。

認知症の発症による患者さんの変化に早期に気づくために

認知症を発症しても、患者さんの長年にわたる価値観など本質的な部分は変わるものではありません。しかし、表1に示すように、認知症による意欲・関心の低下や注意障害によって、オシャレだった人がボサボサの髪や汚れた服で来院する、記憶障害や実行機能障害によって歯磨きを忘れて口臭が強いなど、身だしなみの乱れで異変に気づくことがあるでしょう。さらに、見当識障害によって予約日時を間違えたり、診察券や保険証を忘れていたりすることがあります。本人は自尊心を保とうとして「困っていない」と言うかもしれませんが、まずは不安そうな表情や落ち着かない様子が見られるときには、親身になって声をかけてみてください。解決の糸口がすぐに見つかることもあります。

また、家族に連絡・確認したり、身寄りがない場合には地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームなどに連絡したりして地域のサービスにつなげ、本人が住み慣れた地域で過ごすための支援が必要となります。その意味でも、歯科医院のスタッフは地域のサービスに精通し、連携しておくことが必要でしょう。

1 | 接遇について

臨床の実際編

「認知症」と聞くと、“どのように接したらよいか分からない”といった戸惑いを感じる方も多いと思います。本稿では、一人の患者さんの事例を挙げ、場面ごとの対応について解説していきます。

🔑 Mini-Mental State Examination (MMSE)

認知機能検査の1つ。30点満点で、点数が低いほど認知機能が低下していることを示す。

🔑 記憶障害

何かの名前や体験した出来事を憶えていること、それらを思い出すことが障害された状態。認知症では最近の記憶が特に障害される。

ガイドラインでは
→ CQ4-1 参照

CASE

歯科治療に対する恐怖心や不安感が強く、拒否感が強い患者

- ・アキコさん、89歳、女性、アルツハイマー型認知症
- ・上の入れ歯が合わないことを主訴に家族と来院
- ・要介護2、デイサービス利用中。
- ・初診時の Mini-Mental State Examination (MMSE) は 7/30 記憶障害が顕著で、集中が削がれると今まで話していた内容も忘れてしまう程だった。

簡単な日常会話は可能だが、治療の説明などの理解は困難であった。

歯科治療計画に必要な情報

1) 待合室での様子

記憶障害が進行しているため、自身がなぜ歯科にきているかも忘れてしまい、待合室ではいつも不思議そうに周囲を見回しています。スタッフが治療室まで案内しようとする、不安な顔で「どこに行くの?」、[何をやるの?』と質問し、行くのをしぶる様子がありました (図1)。

2) 治療室での様子

治療室に移動しても器具の準備や義歯の調整などの作業で沈黙になる時間が数分でもあると、アキコさんは“この場所にいる意味”を忘れてしまい、口腔

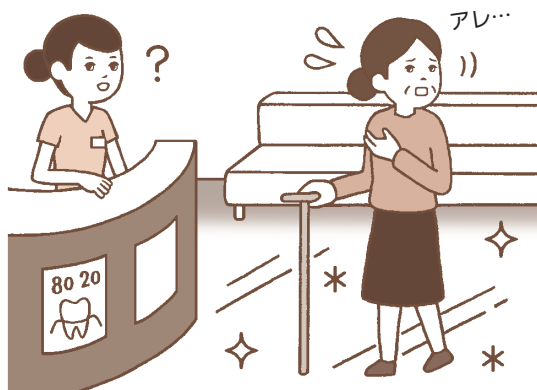


図1 待合室での不安そうな様子